

vol.22

ヴィオラ首席

山中 保人

Yasuhito Yamanaka



ウィーンフィルに憧れてオーケストラプレイヤーに

Q. 楽器を始めたきっかけは？

高校生の時、先生に勧めて頂いたのがきっかけです。ヴィオラという楽器を知らなかったのですが、母が用意してくれた古いレコードのウィリアム・プリムローズの音色に魅了され、ヴィオラを始めました。

Q. オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは？

留学中に、ウィーンフィルのGPを見学させて頂き、その響きの美しさ、演奏者の方々の華麗な所作に憧れて。

Q. 好きな作曲家・曲は？

リンツのオーケストラでの初仕事、練習なしの本番で演奏した、フランツ・レハール作曲「微笑みの国」です。有名なアリア、「Dein ist mein ganzes Herz」(君はわが心のすべて)は勿論ですが、ヴァイオリンの素晴らしいソロを聞いた時、プロのオーケストラの一員としてスタート出来た事にとても喜びを感じました。オーケストラの中で初めてソロを弾かせて頂いた、「マイ・フェア・レディ」も思い出深い1曲です。

Q. ヴィオラの魅力は何ですか？

普段、オーケストラの中では聞こえないと言われる事が多いですが、主旋律の裏で渋い副旋律や刻みを楽しんでいます。楽器から直接来る振動を顎や頭で感じることも快感です。人の声に近いと言われていて、派手ではありませんが、時には琴線に触れるような音色が出ると信じています。

Q. 好きなヴィオラ奏者は？

ウィーンでの師匠、ジークフリート・フューリングー先生です。初めて演奏を聞いた時、それまでに聞いたことのなかった暖かで芯のある音色に圧倒されました。ウィーン弦楽6重奏団でトーマス・リーブルと共に素晴らしい内声を演奏されていました。

Q. 使用している楽器について教えてください。

初めてのクレモナ旅行の時に観光案内所のショールームで見かけ、いつか弾いてみたいな、と密かに憧れていた楽器です。数年後、製作者の個展の為に、たまたま工房に戻って来ていた憧れの子に再開し、今に至ります。また、同じくクレモナで大変お世話になっている日本人製作家の方に、自分の結婚式に合わせて作って頂いた特注の楽器も愛用しています。どちらもまだまだ若い楽器ですが、自分にしか出せない音色を共に作っていきたいです。

Q. 趣味や特技はありますか？

カメラが好きで、ドイツ製の古いレンズを使って写真を撮っています。暖かくなってきたら、山形の色々な所へ写真を撮りに行きたいです。

Q. 最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

まだまだ新米ですが、山響の一員として、これからもお客様に素敵な音楽をお届け出来るよう、頑張っています。